

令和6年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立南蒲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- (低)・拍に合わせて体を動かしたり、リズム打楽器を演奏したりする活動を充実させ、音楽の楽しさを味わわせることにより、主体的に学習に取り組めるようになった。
- (中)・器楽活動において、鍵盤ハーモニカの運指を正しく守りながら演奏する活動に主体的に取り組めるようになった。運指を正しく守って演奏することの重要性について理解したことをリコーダーの学習に生かせるようになった。
- (高)・器楽領域の充実を図り、リコーダーの運指や息の使い方に気を付けて演奏する力を身に付けられるようになった。

(2) 課題

- (低)・器楽活動を通して運指について知りながら演奏する力を伸ばすことができたが、音の長さや休符の位置を意識しながら演奏することができない児童が見られた。
- (中)・鑑賞領域において、聴き取った楽曲の感じ(知覚)と、またそのように感じ取った理由(感受)について自分の言葉で表現することに苦手意識を感じている児童がいる。
- (高)・昨年度までのコロナウイルス感染拡大による活動制限の影響から、歌唱表現や器楽表現の前学年までの既習事項に自信のない児童がいる。

2 授業改善のポイント（観点別）【◎は重点項目】

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・合奏活動は分かりやすいルールを設定し、音を合わせることの心地よさを体感させ、時間の許す限り多くの合奏活動を取り入れる。	・学習の中で様子を表す言葉と共通事項を関連付けて指導していき、思いと言葉をつなげ、伝える力を伸ばす。	◎伴奏や教師のカウント、CDを使用したりレー奏や、手拍子でのリズム遊びを取り入れ、拍の流れを感じ取りながら歌ったり演奏したりできるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎フラッシュカードやICTを活用したり、指番号の確認で運指指導の時間を取り入れたりするなど、既習事項について着実に理解させ自信をつけさせる。	・客観的に振り返りができるよう、グループごとに聴き合ったり、自分たちの演奏をタブレットで録音、鑑賞したりする学習を取り入れる。	・積極的に活動に参加できる支援を整え、言葉カードを活用して語彙を増やし、分かったことを伝える環境を整える。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・計画的に復習の時間を取り入れ、フラッシュカードやICTを活用し、既習事項の復習や技能（持ち方、運指など）の指導を行い、自信をもって学習に取り組めるようにする。	・客観的に振り返りができるよう、グループごとに聴き合ったり、自分たちの演奏をタブレットで録音、鑑賞したりする学習を取り入れる。	◎個別に指導する時間を確保し、リコーダーや鍵盤ハーモニカなどの器楽指導では運指を丁寧に確認し、スモールステップを組んで指導する。